

平成 28 年度セミナーサポート事業②

放送講習会

9:30-10:00 受付

プレ講座

10:00-12:00 講座 1 校内放送活動について

岩手県立宮古工業高等学校 菊地達哉先生

講座 2 盛岡白百合学園高校放送部 活動報告

盛岡白百合学園高等学校 放送部

13:00-15:00 講座 3 放送部の活動について

広島県立五日市高等学校 荷宮嗣麿先生・

放送部 2 年 石井七瀬さん・岩元萌々香さん・三谷明由実さん

平成 28 年 9 月 18 日(日) 9:30～15:30

岩手県民会館 **中ホール**

主催 岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

主管 岩手県高等学校文化連盟放送専門部

番 高校 年 氏名

毎日、放送する

岩手県立宮古工業高等学校 放送委員会顧問

菊地達哉

1 毎日、放送する。…放送部(委員会)は、放送する部活

校内放送活動の内容…全部「番組」、全部「放送」

①校内放送…お昼の放送、掃除放送、下校放送など

②校内行事…音響・撮影等、行事の運営

③コンテスト…ふだんの活動の成果を持ち寄る場

毎日放送した中のベストを持ち寄るのがコンテストのアナウンス部門

毎日取材したことからふくらませるのが番組の部門

④その他…自主企画事業

毎日「人前での本番」(糸井重里)を経験できる部活は、放送だけ

毎日「しらべて、まとめて、伝えて(NHK・宇治橋祐之)、動かす活動=放送」をした経験が、力になる

(3) 校内放送活動(放送部の活動)をすると、

美男・美女になる(広島井口高校・永尾和子)

放送をする人も、放送の受け手(生徒)も、放送された人も、美男・美女になって、世の中がよくなる

目的…目指す一点の的、ゴール 目標…途中にある道標

コンテストが目的ではない。優勝は一人だけ、それも「その時の一番」に過ぎない

2 取材から校内放送まで

この項目の参考文献

このあとの講座2(盛岡白百合学園高校放送部の実践発表)

『NHK アナウンサーとともに ことば力 アップ』NHK テキスト

NHK ラジオ第2放送 土曜 21:30~21:45, 再放送: 水曜 22:15~22:30・土曜 8:15~8:30

盛岡一高放送委員会マニュアル <http://www2.iwate-ed.jp/housou/misc/20100721.pdf>

第58回 NHK 杯全国高校放送コンテスト(2011年) 校内放送研究発表会から

兵庫県立小野高校「放送部が本当に伝えるべきこと」 58回大会報告号 CD

岩谷堂高校「情報を伝える放送の構造」 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/misc/20110727iyd.pdf>

盛岡市立高校「お昼の放送はだれのため」 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/misc/20110727morc.pdf>

(1) 取材…「ナマ」に迫る←自分がわかったこと、感動したことしか、伝わらない

放送は「他己紹介」…伝えるべき事は、相手の中にある(佐藤可土和)

放送は、取材相手の中身を伝えるもの。あなたの主張、意見を直接述べるものではない

あなたの主張、意見は、そのことを採り上げたことすでに伝わっている

いい放送ができると、取材相手に感謝される

取材相手の中身に感動して、放送の受け手にも感動させる

誰に何をきくか…「問題の答えをもらってくるようなもの」は取材といわない

「作業」と「仕事」の違い。「情報収集」と「取材」の違い

どこで、何を見るか。誰と、何を話すか

楽しくおしゃべりできたごほうび(オマケ)として、いい話をもらうことができる

(ただし、アナウンス原稿用と番組用では、ちょっと違います。番組のときは、カメラやマイクの前で一から十まで全部話してもらわなくてはなりません。そのことをきちんと伝えて協力してもらいましょう)

真実か、伝える意味はあるか

…伝える価値があるか(聴きたい話しか聞いてもらえない)、いま(きょう)伝えることか、誰に伝えることか
誰にとっても価値のない放送は百害あって一利なし

一人だけのための呼び出し放送は、その他の人の「聞き流す力」しか育てない(不幸の放送)

全校に放送する意味のある内容以外は排除する。音楽の流しっぱなしには、ほとんど意味がない

(2) 原稿化(構造化)…伝わる構造(番組)にする。まず結論

何がニュースか…核心となる要素(結論)は何か

基本情報…必要な要素は網羅されているか

構造…結論が伝わる構造になっているか、何から順に並べれば「一耳で」わかってもらえるか。←「番組」

岩谷堂高校「情報を伝える放送の構造」 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/misc/20110727iyd.pdf>

メンバーによるチェック、顧問による手直しをへて、放送

(3) 実際の放送

昼休みになったらすぐに放送する…毎日同じ時間に同じ構成で放送をすることが何より大事(東播磨高校・大江真理)

原稿は一目で正しく音声化できる工夫を

まず黙読で下読み、内容を一目で把握せよ。漢字にふりがなを。キーワード(結論)にはアンダーラインを

発声練習は、目が覚めてから昼休みまでの過ごし方全体

「みなさん」という人はいない。誰にしゃべるのか決める

放送は「しゃべり」。「読み」という言葉は使用禁止

言いたいことはいきいきと自然に話せる。自然なしゃべりがいいアナウンス

地声(自声)でしゃべる。裏声禁止

段落の区切り・話題の区切りがわかるように間をとる

一音一音ははっきりくっきりと発音しない。ことばはスッキリ、サッパリと「かたまり」でしゃべる

ちょっとだけ半身になると、身体の力が抜けて、効果的

しゃべりの練習や放送の本番に聞き手がいると、自然なしゃべりになりやすい

(原稿の構成(情報の順番)がよければ自然なしゃべりになります)

(4) 校内放送をすると

放送部員(委員)は…生徒全員から覚えられる。生徒全員のことを覚える。その両方があるのはわたしたちだけ
コンテストで成果が出るとみんなにほめられる

生徒は…お昼の放送で取りあげられることがステイタスになる。みんな活躍しようとする(幸せの放送)
大会に行った部活から放送室におみやげが届く

学校は…みんなが放送でつながって、いい社会になる。お昼の放送を聞けば、友だちが増える(弓岡千恵)
コンテストには…校内放送で取りあげた話題を持って行くだけ。選り放題～♪

3 放送コンテストとアナウンス・朗読

10月12日(水)のメディアコミュニケーションセミナーでお話します。

4 番組制作について

(1) 放送は、時間

表現方法の特徴…「時間」で表現するメディア。変化を描く

わかる前と後では別人になる…不可逆性の変化

→ 学ぶ、感動、成長、(自転車に乗れなかった自分に戻れない) 「高校生らしさ」の本質

時間…人生そのもの。たとえ 15 秒の CM であっても、番組は人生の縮図

限られた時間で表現…並べ方=番組 番組制作の醍醐味

放送は、そもそも「おじゃま虫」(帝塚山高校・桐畑治)。そもそも視よう・聴こうと思っている人はいない(生活環境)

そんな人を立ち止まらせ、ふり向かせることが必要

偶然番組に遭遇した人が不愉快にならないことも大事(テレビ岩手・中野圭)

放送は、送り手に 100%責任がある。伝わらないのは送り手のせい(NHK・桑山裕明)。授業と同じ

伝えたいことを、伝わるように、伝える。受け手が聴きたいと思う話・構成でなければ、放送する意味がない

送り手に問われるのは、技術と知性と人間性(元 NHK・高橋洋征)

(2) テレビとラジオ…メディアは正しく選択を(西澤實)

目でわからせるのが、テレビ

ナレーション、BGM、テロップなどは、入念な薄化粧(片岡義男)で

薄化粧で済むのは、もともとが美人だから!? 絵・音は大切に撮って(録って)、活かそう

ついでに、人間の「美人」は、外見と中身のかけ算です

ついでに、放送の審査は、内容と技術のかけ算でしょう(要素の最低点で決まる)

音で想像させるのが、ラジオ(妄想力(NHK・市谷壮))

より想像力を働かせて受け止めてほしいなら、ラジオを選ぶ(HBC・後藤篤志)。アンビエンスがいのち(瀬川徹夫)

(3) 放送と映画…実は相当違う(瀬川徹夫)

映画は、静穏(静音)環境が前提…視よう・聴こうと準備している人に、集中できる環境で提供する

複雑なストーリーや、広いダイナミックレンジ(音量・映像・表現)が可能、etc

放送は、生活環境が前提…視よう・聴こうとしていない人をふり向かせる

途中からでも追いつける仕掛けも必要、ダイナミックレンジは映画より狭くとる、etc

ダイナミックレンジの特性に注目すると、アナウンスは放送、朗読は映画

(4) フィクションとノンフィクション…二つの手法は混ぜないのが基本。混ぜると真実がわからなくなる(西澤實)

フィクション…リアリティーのある嘘を積み重ねて真実を伝える

ドラマ、CM、(朗読)

山崎豊子の小説のように、取材しつくした上でのフィクションも、もちろんあり得る

いいドラマは、時代をこえる。古くならない

ノンフィクション…事実を積み重ねて真実を伝える

ドキュメント、ニュース、ルポルタージュ、(アナウンス)

いいドキュメントは、時代を切り取る。つくった人も、見た人も、そこで生きていたことを一瞬にして思い出す

(5) 番組にかかわる三者

語り継ぐ(兵庫県立舞子高校環境防災科)

語る…体験した人が直接伝える活動

継ぐ…体験していない人が伝える活動

語り(取材される) + 継ぐ(取材する, 番組を制作する)ことで人間社会が成熟していく…放送の存在意義

番組をつくれる人

番組をつくる人

番組をみる(きく)人

お互いどういう関係? 番組を, つくられて, つくって, みせられて,

互いが感動する(=傷つけ合う(茂木健一郎))→だから**放送は命がけ**

番組はどうつくられるか?(NHK・宇治橋祐之)

「しらべて, まとめて, つたえる」

しらべる→「知ること」から「わかること」へ

要素は? 構造は?(畑村洋太郎)

まとめる→「わかったこと」を「いいたいこと」へ

→「いいたいこと」を「伝えること」へ

つたえる→「伝えること」で「動かす」

5 番組の実例

いくつかの番組を紹介します。一緒に考えましょう

6 全体のまとめ…毎日, 放送する

毎日校内放送をする, 毎日取材をする, 毎日撮影・録音をする, 毎日編集する, …

向上心を持って毎日活動すれば, たいていのことはできるようになる

それは放送部以外の部活や勉強と同じ

そして, 自分ができるようになったことが, 本当の力(実力)になる